

女性の顔まわりの毛のケア実態とライフスタイルに関する調査

**顔まわりの“毛”のケア不足で美人台無し！「おば毛」女子が大量発生中！
7割以上の女性が、相手の“毛”のケア不足が気になった経験あり！
一方、“毛”への意識が高い女性はライフスタイルも充実傾向
～あなたも実はあてはまるかも!? “恐怖の「おば毛」あるある”公開！～**

眉毛・まつ毛・うぶ毛を活かし操る「毛 beauty lab.」サイト 第二弾！
「“おば毛”タイプ診断」「30代以上の“美”に悩める女性に向けたメッセージコラム」も合わせて公開
URL: <http://www.ke-beauty.jp/>

ピラス株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役:阪本和俊)は、美容やライフスタイルにおいてターニングポイントとなる30代以上の女性に向けて、新たな“美”の可能性や伸び白を提案していく「毛 beauty lab.」を発足し、特設サイト「毛 beauty lab.」(URL: <http://www.ke-beauty.jp/>)を公開しています。

この度、第二弾として、「顔まわりの毛のケア実態と女性のライフスタイルの相関」についての調査を実施しましたのでその結果を発表します。また、本調査に合わせて、あなたの“おば毛”度がわかる「診断」コンテンツや、毛のケアと美についてのコラムを「毛 beauty lab.」内にて公開します。

【調査結果サマリー】

顔まわりの毛のケア・メイクをできていると思っている人が8割以上いる一方で

相手の顔まわりの毛のケア不足を気にする女性は7割以上存在！

自分ではケア・メイクしているつもりでも、実は相手からみるとケア不足と思われる女性が多いのでは！？

- ・眉毛・まつ毛・うぶ毛のメイク・ケアについて、気を使ってケアしている人は8割以上存在。
- ・一方で、友人・知人女性などの顔まわりの毛のケア・メイク不足が気になった経験がある女性は7割以上。

相手の顔まわりの毛のケア不足で最も気になるのは「口周りの毛」!

毛のケア・メイクができていない人への印象は「もったいない・おいしい」がトップとなることから

少しの顔まわりの毛のケア不足で、美人が台無しになっているかも！？

- ・顔まわりの毛で最も気になるのは「口周りの毛」、次いで「生えっぱなしの眉毛」「細すぎる眉毛」があがる。
 - ・顔まわりの毛のメイク・ケアができていない人の印象トップは「もったいない・おいしい」。
- 次いで「だらしがなさそう」「老けて見える」が続く。

顔まわりの毛のケア・メイクをしている女性は、女性としても自信をもっている人が多く

家族との関係や仕事とプライベートのバランス等においてプラスの要素が働き、ストレスも少ないことが明らかに

- ・顔まわりの毛のケア・メイクをしている人と、していない人の比較では
ケア・メイクしているほうが年齢を重ねることに抵抗がなく、女性としても自分に自信を持っている傾向。
- ・また、顔まわりの毛のケア・メイクをしている人は、していない人と比べ「整理整頓」「家族・夫・パートナーとの関係」「ストレス」「仕事とプライベートの両立」において全てプラスに働いている傾向。

相手の顔まわりの毛の“痛い”シーンに遭遇した割合はなんと約8割

「眉だけ90年代」「うぶ毛豊作女子」「重量級まつ毛アラサー」など、“おば毛”女子大量発生中！

あなたも気づかないうちに“おば毛”女子になっているかも！？

- ・相手の顔まわりの毛の“痛い”シーンに遭遇した女性は約8割存在。
- ・フリーアンサーで“痛い”シーンを聞くと、美容・メイクなどの意識が高く美人なのに、顔まわりの毛だけ残念な人の存在が伺える。

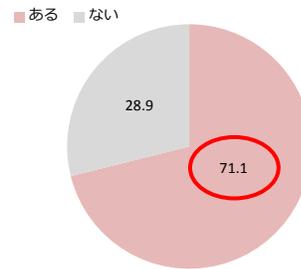
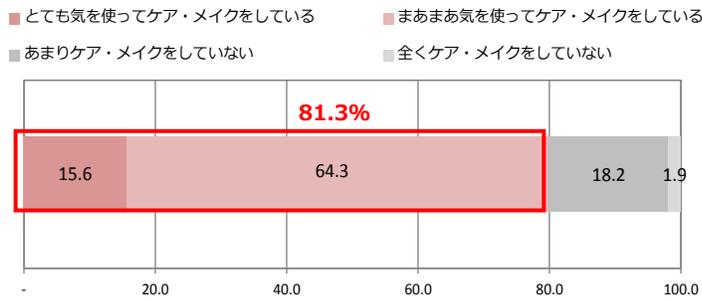
【調査概要】

- ・調査タイトル : 顔まわりの毛のケア実態と女性のライフスタイルに関する調査
- ・調査方法 : インターネットアンケート
- ・調査実施期間 : 2017年3月17日～2017年3月22日
- ・対象地域 : 全国主要都市圏: 関東圏(東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県)、関西圏(京都府・大阪府・兵庫県)、北海道、宮城県、愛知県、福岡県
- ・対象者 : 30～50代女性 計1,000名

**顔まわりの毛のケア・メイクをできていると思っている人が8割以上いる一方で
相手の顔まわりの毛のケア不足を気にする女性は7割以上存在！
自分ではケア・メイクしているつもりでも、実は相手からみるとケア不足と思われる女性が多いのでは！？**

■あなた自身の顔まわりの毛(眉毛・まつ毛・産毛)のケア・メイクについての意識を教えてください。(N=1000)

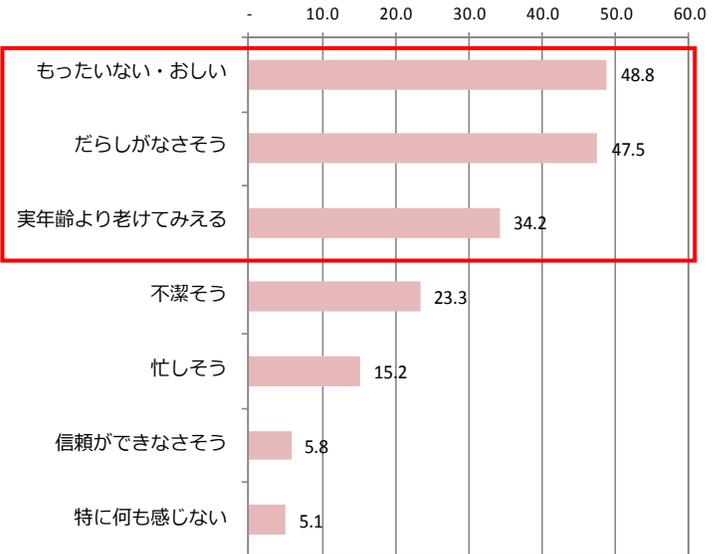
■友人や知人女性の顔まわりの毛(眉毛・まつ毛・産毛)について、ケア・メイクがしっかりされていないと気になった経験はありますか。(N=1000)



**相手の顔まわりの毛のケア不足で最も気になるのは「口周りの毛」！
毛のケア・メイクができていない人への印象は「もったいない・おしい」がトップとなることから
少しの顔まわりの毛のケア不足で、美人が台無しになっているかも！？**

■相手の顔まわりの毛が気になったことがあると回答された方へ伺います。それは、具体的にどのパーツでしたか。(n=711)

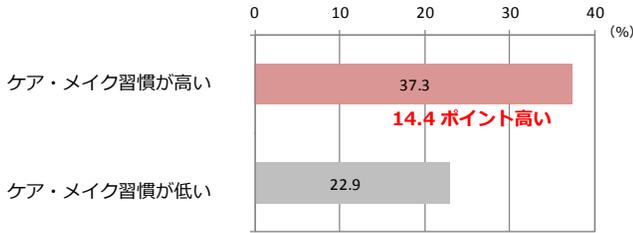
■相手の顔まわりの毛が気になったことがあると回答された方へ伺います。ケアできていない人への印象を教えてください。(n=711)



**顔まわりの毛のケア・メイクをしている女性は、女性としても自信をもっている人が多く
 家族との関係や仕事とプライベートのバランス等においてプラスの要素が働き、ストレスも少ないことが明らかに。**

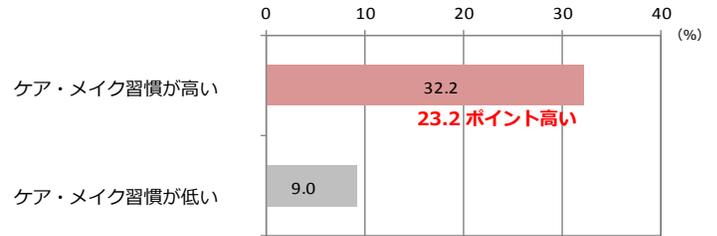
■あなたは、女性として年齢を重ねることにどう感じていますか。
 あてはまるものをお答えください。(N=1000)

【「年齢を重ねることが楽しみ」な割合の比較】



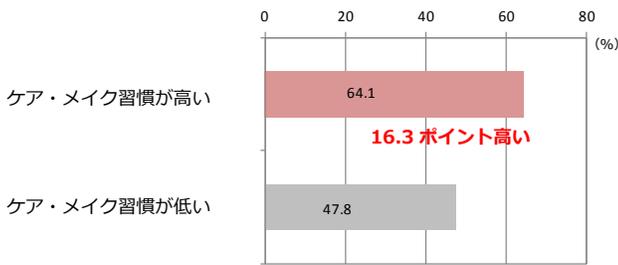
■現在のあなたの、女性としての自信についてあてはまるものをお答えください。(N=1000)

【「女性としての自信がある」割合の比較】

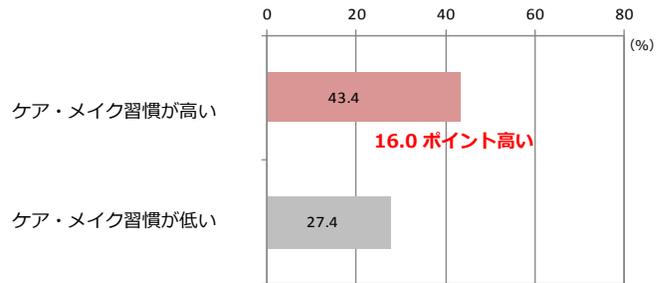


■顔まわりの毛について、気をつけてケア・メイクしている・していないによるライフスタイルの違い
 (気を使ってケア・メイクしている n=799 / ケア・メイクしていない n=201)

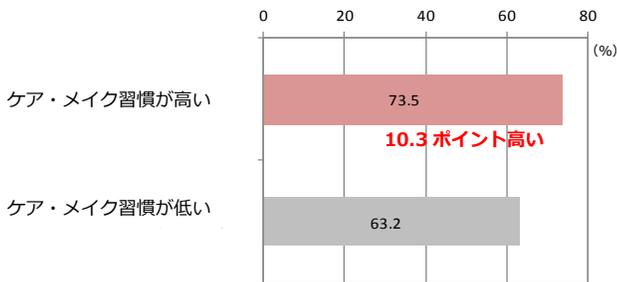
【「家や身の回りが整理整頓できている」割合の比較】



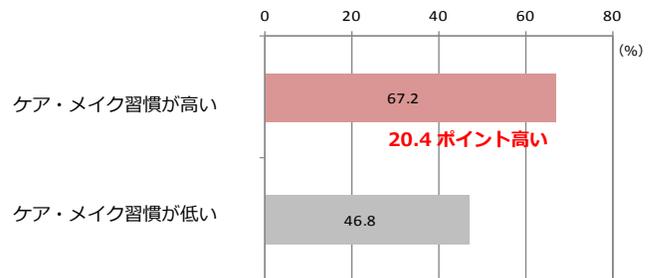
【「日常のストレスが少ない」割合の比較】



【「夫・家族・パートナーとの関係が良好」な割合の比較】



【「仕事とプライベートのバランスがとれている」割合の比較】

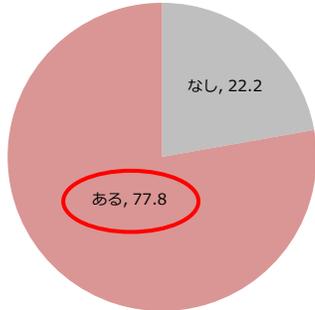


相手の顔まわりの毛の“痛い”シーンに遭遇した割合はなんと約 8 割

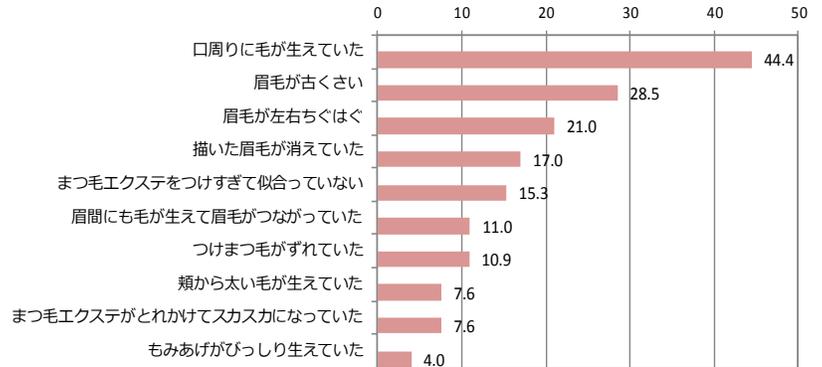
「眉だけ 90 年代」「うぶ毛豊作女子」「重量級まつ毛アラサー」など、“おば毛”女子大量発生中！

あなたも気づかぬうちに“おば毛”女子になっているかも！？

■あなたは、友人・知人女性の顔まわりの毛について、「残念(痛い)」と感じるシーンに遭遇した経験はありますか。当てはまるものについてお答えください。(N=1000)



■あなたは、友人・知人女性の顔まわりの毛について、「残念(痛い)」と感じるシーンに遭遇した経験はありますか。当てはまるものについてお答えください。(N=1000)



■“おば毛”女子あるある事件簿

顔まわりの毛にまつわる“痛い”シーンに遭遇した人は意外と多いことが判明。

人ごととは思えない“痛い”あるあるシーンをご紹介します！

① “眉だけ 90 年代”事件



職場の同僚で、性格も愛想も良いのに眉毛だけがヤンキーのように細く、眉山がとがった形をしていて、いつも残念だと思っていた。(36 歳)未だにアムラーが流行った時の眉毛をしている人がいる。(37 歳)

② “つけまつ毛半分とれかけ”事件



メイクもバッチリ、服装もオシャレなのに飲み会でつけまつ毛が半分取れていた。プライドの高い女性だったので教えるべきか、そのまま自分で気がつくのを待つか迷った。(37 歳)

③ “うぶ毛豊作”事件



口周りに毛が生えていた。お天気の良い日に顔に日差しが当たり、うぶ毛が豊作なのが見え見えだった。(47 歳)

④ “重量級まつ毛アラサー”事件



まつ毛エクステが長すぎ、また多すぎて、無理しているなあ…と感じたことがある。(53 歳)

【毛 beauty lab コンテンツ①】

あなたも知らない間に、恐怖の“おば毛”女子になっていない!? あなたに必要な顔まわりの“毛”のケアがわかる「“おば毛”タイプ診断」

「女性の顔まわりの毛のケア実態とライフスタイルに関する調査」結果に合わせて、「毛 beauty “おば毛” 度診断」を公開します。ライフスタイルや美容に関する設問に解答していくとあなたが陥りがちな“おば毛”キャラクターが登場、顔まわりの“毛”のケアやメイクポイントを紹介します。



【毛 beauty lab コンテンツ②】

ビューティージャーナリスト前田美保さんによる 30代以上の“美”に悩める女性に向けたメッセージコラムを公開！

ビューティージャーナリスト前田美保さんによる、30代以上“美”に悩める女性たちに贈るメッセージコラム「10年後に後悔しないための“美”断捨離」を公開します。

■コラム内容

- ①30代以上は“テコ入れ世代”！
～女の土俵を下りたら、二度とあがることはできない～
- ②自分と向き合うことがファーストステップ
～まずは“自分に備わっている良さ”を分析して～
- ③友達は信用ならない!?
～プロの手を借りた、客観的な視点が美しさへの近道～

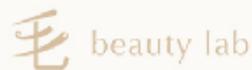
ビューティージャーナリスト 前田美保

「試してみないと分からない」をモットーにさまざまな美容体験を伝えている



国際基督教大学を卒業後、大手広告会社に入社。退社後、美容ライターとして活動を開始。最新の美容事情や化粧品の製品情報に精通しながら、ファッションや演劇、ゲーム、マンガにいたるまで、幅広い視点から“ビューティ”を分析するのが得意。各媒体でスキンケアやメイクページといった王道美容記事から、読み物としての美容記事まで数多く執筆。美容やライティングをテーマに講演を行うことや、商品企画やマーケティングのアドバイザーとしても参画することも。

【毛 beauty lab とは】



「毛 beauty lab」は、美容やライフスタイルにおいてターニングポイントを迎える、30代以上の女性たちに向けて、“顔まわりの毛”に意識を傾けてもらい、毛で新たな“美”の可能性や伸び白をご提案するために発足いたしました。眉毛・まつ毛・うぶ毛を活かし操ることによる新たな視点から、女性の“美”をサポートいたします。

今回、30・40代の美容に興味・関心のある女性を対象に調査し、分析したところ「アンチエイジングの気になり始めは平均 33.3 歳であること」、「美容・メイクへの意識の変化は 30 代から出てくること」ということが判明。30 代前半からは「内面・外見ともに過剰に飾らず自身のよさを生かした自然体の生き方へと移っていく」ことがわかりました。また、「健康」「食生活」「自然体」を意識する傾向になるなど、30 代前半は美容やライフスタイルにおいてもターニングポイントであることも浮き彫りになりました。

本サイトでは、さまざまな分野の専門家の方に監修頂き、調査、文化史、コラム、診断テストなど、眉毛・まつ毛・うぶ毛に関する“美”の可能性を広げていけるような情報を発信してまいります。

■サイト開設日：2017 年 3 月 30 日（木）

■サイト URL：<http://www.ke-beauty.jp/>